

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリスキッズぶらす本駒込		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 9日		2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 9日		2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全職員が同一の時間帯に顔を合わせることができ、利用者に関する情報をタイムリーに共有することが可能である。	毎日、クラスごとに職員全員で振り返りを実施し、情報の共通認識を持つことを最優先事項としています。次のクラス開始までの時間を活用し、全職員が利用者の記録や支援計画を再確認することで、一貫性のある継続的な支援につなげられるよう意識しています。	振り返りの精度をさらに高め、支援の質を向上させるため、外部研修への参加や事例検討会を積極的に行い、職員一人ひとりの専門性の向上とスキルアップに努めます。
2	一つのクラスの中で、個別活動と小集団活動の双方を経験することができる。	一人ひとりの特性に合わせた課題を、個々のペースで習得できるよう支援しています。保育園・幼稚園や就学後の日常生活に近い環境を想定した流れを構築し、将来的に大きな集団の中でも無理なく適応できるよう、段階的なアプローチを意識しています。	常のあらゆる場面を想定した経験の機会を創出するため、多角的な視点に基づいたアプローチを検討し、より実践的な関わりを深めていきます
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幼稚園や保育園、地域との交流機会が少ない状況にある。	活動時間の設定などの制約により、現時点では近隣の保育施設や地域住民との十分な交流機会を確保できていないことが課題です。	まずは、現在当事業所を利用されているおさまが並行して通っている幼稚園や保育園との連携を強化し、情報共有の機会を増やしていきます。
2	事業所の認知度が不足している。	地域との関わりや、連携できる関係機関が少ない状況にある。	近隣にある法人内の保育施設との連携を強化し、独自のネットワークを広げることで、地域における事業所の認知度向上を図ります。また、関係機関との橋渡しとして、現在利用中の保護者様との信頼関係をより一層深め、地域に根差した施設づくりに努めます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
クオリスキッズぶらす本駒込		2026年4月30日				19名		14名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1	0	0	・4、5人ぐらいが十分動けるスペースがあると思います ・もう少し広いといいなと思います	ご利用人数や活動内容に合わせて室内のレイアウトを工夫し、お子さまがゆったりと安全にのびのびと活動できる環境づくりに努めてまいります。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	0	・1対1で対応してくださる配置で助かります	貴重なご意見ありがとうございます。引き続き、お子さま一人ひとりに丁寧に向き合える適切な職員配置を維持してまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	0	0	・時間割りのカードなどあり、今が何の時間か子供に分かりやすいと思います	今後も視覚情報、聴覚情報などあらゆる手段を用いて整えていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	0	0	0	・きれいだと思います	今後も利用者の皆様にとって心地よい環境で過ごせるよう設定してまいります。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1	0	0	・個別で行ったことをご知らせしていただいたあと、次の方針も考えてくださります ・先生によります	定期的な研修を通じ、支援の質の向上に励んでおります。今後も職員一人ひとりが専門性を高め、個々の特性に基づいたより手厚い支援を提供できるよう研修を積んでまいります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	0			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0	・計画書はいつも子供のことをよく見てくださると感じます	お子さまの成長や保護者様のニーズを細やかに反映した個別支援計画を作成し、ご家庭と連携しながら最適な支援を提供できるよう努めてまいります。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	0			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0	・支援計画は細かい内容まで丁寧に作成して下さるともわかりやすく感じております	今後も一人一人に合った計画を立て、支援を提供できるよう努めてまいります。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	0	・「〇〇ができたので△△もやってみよう」と提案して下さいます	しっかりとステップアップにも繋げられるよう、様々な角度からプログラム設定してまいります。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	4	3	・そういった話は聞いてないと思います	現状、プログラムの都合上、地域交流の機会が限られていることを課題と認識しております。今後は、お子さまの負担に配慮しつつ、地域との繋がりを持てる機会を検討してまいります。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	3	3	・研修会等の話は聞いてないと思います	今現在、毎日保護者との振り返り時間を設け、加えて定期的な面談、地域のイベント等の案内を行っており、今後も継続してまいります。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1	0	0	・よく見てくださいます ・毎回しっかり話しかける時間をとって下さっていると思います	毎日の連絡帳や送迎時の対話を通じ、お子さまの様子を細やかに共有させていただき、ご家庭との共通理解を深め、共に成長を見守っていただけるよう、密な連携を継続してまいります。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1	0	0	・いつも安心して通わせることができる	職員一同、今後も努めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	0	5	5	・うちはきょうだいがいないので分かりかねます ・保護者どうし勝手に交流していますので問題なく感じております	お迎え時のコミュニケーションや行事を通じ、保護者様同士が情報交換できる場を今後も大切にしてまいります。 「きょうだい児支援」については、現状まだ周知や機会が不足しているとの認識に立ち、今後はご兄弟も参加できるイベントの企画や、ご家族全体を支える情報提供について検討を進めてまいります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	2	・進路についての話題でも対応して頂き大変助かりました	今後も必要に応じて、寄り添った対応を続けていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1	0			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	2	0	3	・HPを見ていないのでわかりかねます	定期的にSNS等で活動の様子を発信するとともに、自己評価結果の公表についても、より多くの保護者様にご確認いただけるよう丁寧なご案内を徹底してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	1	・初めの面談時に非常時について丁寧に説明していただきました	契約時に各マニュアルについて説明を行い、マニュアルに沿って発生を想定した訓練を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1	0	0	・通所日でない日でも「クオリスに行く！」と言ったり、「今日はクオリスだよ」と言うと「イエーイ！」とはしゃいだりしており、とても楽しいようです。 ・最近嫌がる時がでてきた	その日の様子に合わせて臨機応変に対応しています。今後も保護者の方と情報共有することで、安心に繋がっていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1	0	0	・いつも親身に対応していただきありがとうございます。とても満足しています	定期的にSNS等で活動の様子を発信するとともに、自己評価結果の公表についても、より多くの保護者様にご確認いただけるよう丁寧なご案内を徹底してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		クオリスキッズぶらす本駒込				公表日	2026年4月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・1日定員10名を遵守し、午前・午後とクラスを分け、適正な人数での個別活動及び集団活動を行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・スタッフの急なお休み時は近隣園から保育士の応援をお願いしている。 ・職員配置は遵守している。	・配置は遵守しているが、今後のサービスの質の向上をできる配置人数を考えていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・利用者によって取り入れやすい情報が異なるため、聴覚情報だけでなく、視覚的な情報も活用することで構造化した環境設定を行っている。 ・利用者の届かない位置にも鍵を設置し、飛び出し等の危険な行動に対応できる環境を整えている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・毎日の清掃、教材やおもちゃの定期的な消毒を行っている。 ・活動で使用する机、椅子は利用者の成長に合わせて高さを変えている。 ・療育活動に集中できるよう、活動スペースには必要な物以外置かないようにしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・必要に応じて、相談室を活用したり、パーティション等でスペースを確保している。	・パーティションを使用する場合は完全個室にはならない為、他の利用者の集中力を妨げてしまう可能性がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・アセスメント会議の他、毎日の支援後に全職員対象の振り返りを実施している。	・支援の質を高めるため、職員一人ひとりのスキル向上が今後も必要となる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・評価結果を全職員に周知し、改善できる点の話し合いを行っている。	・今回のアンケートから頂いたご意見を活かし、より良いサービスの提供に努めていきます。ご協力ありがとうございました。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・必要に応じて職員面談の機会を設けている。 ・職員ミーティングを実施し、互いの困り事や考えを共有し、改善に努めている。	・風通しの良い職場環境作りを徹底していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	・現在、第三者評価は実施していない。しかし親会社の内部監査室による業務プロセスの評価等は実施している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・外部の研修情報は職員間で共有している。	・研修のために療育時間を抜けることが出来る人員配置の確保が必要である。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・株式会社クオリスのホームページ、リタリコ発達ナビに公表している。	・保護者の皆様により周知できるように努めていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・計画作成時には保護者にも聞き取りを実施し、日々の活動の様子からアセスメントシートの作成を行ったのち、全職員でアセスメント会議を行い、十分に話し合いをしてから児童発達支援計画を作成している。	・課題抽出は偏ってしまうこともあるため、アセスメントや計画作成の質の向上に努めていく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・全職員参加でのアセスメント会議を実施し、利用者一人一人の課題等に対して職員間で共通認識を持った上で次の支援に繋げるようにしている。	・計画作成時だけでなく、日々の打ち合わせ、振り返りも更に充実させることで、共通認識を確認する機会を増やしていく。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・計画作成後は全職員に内容を確認してもらい、加えて、毎日の業務日誌にもその日の利用者の個別支援計画を載せることで、すぐに計画内容を確認できるようにしている。	・日々の支援においても、計画内容からズレが生じないように、常に声掛けを行っていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・モニタリング時期には会社独自のアセスメントシートを活用している。 ・日々の活動の様子については、ソフトを利用して記録を取り、記録に残すポイントも職員間で共有している。	・日々の支援においても、計画内容からズレが生じないように、振り返りや共通認識をより深めていく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・アセスメント会議では本人支援、家族支援、移行支援の内容を踏まえた話し合いを行い、計画に反映させている。	・地域連携については、現状実施できていないが、保護者からの要望がある際には検討していく。	

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・毎月の活動は全職員で話し合いを行いながら決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・スタッフ会議で案を持ち寄って決めている。 ・利用者の様子に合わせて活動内容は柔軟に変更し、同じ活動でもねらいに変化をつける等している。	・集団活動のついては、参加利用者の年齢、様子等の違いにより、活動の難易度を一人一人に合わせることが難しい場合がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・利用者一人一人に合わせた課題を個別活動と集団活動の中で取り入れている。 ・必要に応じて、個別活動で習得した力を集団活動で発揮できるようにアプローチもしている。	・利用者の成長に合わせて、柔軟に適切な支援を行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・全員で動く事を意識するために、毎朝の職員ミーティングにてその日の活動や職員ごとの役割を確認している。 ・朝の打ち合わせに限らず、療育時間直前にも職員間で確認を行っている。	・ミーティングでその日の流れや役割を確認するだけでなく、療育に入る職員の疑問点も解消できるような打ち合わせにしていく必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・1日の終わりではなく、各クラス終了後に毎回振り返りの時間も設けている。その中で利用者の課題や次の支援についても話し合いを行っている。	・全職員が支援のポイントを理解し、要点をまとめた振り返りが出来るよう、共通認識を深める事がより必要である。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・ソフトを利用して活動当日に記録を取っている。 ・全職員で記録を共有し、利用者の様子の変化や不明瞭なことについて意見交換をしている。	・今後も活発な意見交換ができるよう、風通しの良い職場環境作りを徹底していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・半年に1回のモニタリングにて、職員間で振り返り、話し合いした内容を基に児童発達支援計画の見直しを行っている。	・半年経過する前においても、日々の振り返りから必要に応じて計画の見直しを行う場合もあるため、利用者の変化や成長の情報収集は今後も継続していく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	50%	50%	・障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議には、原則児童発達支援管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%	必要に応じて、利用者が通っている保育園・幼稚園や他療育施設と情報共有する機会を設けている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・必要に応じて、利用者が通っている保育園・幼稚園や他療育施設と情報共有する機会を設けている。 ・就学時には支援シートを作成し、保護者を通して学校に提出してもらっている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・保護者の意向をもとに就学支援シートの活用し、支援方針や療育内容の情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	50%	0%	・研修参加を心がけている。 ・支援センターでの発達検査結果を保護者の同意を得て情報共有させてもらうことで、事業所内での支援に取り入れている。	・連携機会を増やしていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	・地域の保育園や幼稚園等に直接出向く機会を設けられていません。利用者が保育園、幼稚園と併行通園できるよう利用日や時間の調整を行っている。	・様々な機関や施設と繋がりを作っていくよう努めていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・毎回の送迎時にその日の様子や今までとの変化などのフィードバックを実施している。また、必要に応じて家庭での様子もつかうが、共通認識を図っている。	・迎える時間によって、十分なフィードバックの時間が取れないことがある。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%	・送迎時のフィードバック、モニタリング時の面談は家族支援の一環であり、更に家族からの申し出があった場合は相談を受け、助言・情報提供を行っている。		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に丁寧かつ分かりやすい説明を行っている。 ・各項目ごとに疑問点がないか尋ねながら進めている。 	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・計画作成時にはアセスメント用紙に利用者本人及び家族の希望を記入してもらい、児童発達支援計画に反映させている。 	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した児童発達支援計画の読み合わせを行い、説明をして同意を得てからサインをもらっている。 	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談があった際には面談の時間を設けている。また、保護者との対話の内容によって、詳細な聞き取りや助言が必要である場合にはお声掛けをして話の場を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いをより引き出すために、傾聴力の向上が必要である。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を見ていただく等、交流の場を設けていく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談がある際には、迅速かつ適切に対応している。 	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・Instagramやブログで活動内容を発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子や事業所の雰囲気がよく伝わるよう、内容の充実を図っていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵の付いた書庫に保管している。 ・保護者配布書類は二重チェックを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報を取り扱っている意識を高めていく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚情報、視覚情報など利用者一人一人がより理解しやすい方法で情報伝達を行っている。 ・保護者に対しては、紙ベースでのお知らせやメールでの連絡を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への情報伝達には確実に手元に残る方法で実施していく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		<ul style="list-style-type: none"> 現状のプログラム上、行事の開催には至っていないが、SNS等を活用した施設の情報発信を行うとともに、区内の同法人内保育施設との連携を図っている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には契約時に説明を行い、加えて玄関にマニュアルの冊子を設置することでいつでも閲覧できるようにしている。 ・職員間ではマニュアルの読み合わせを行い、定期的に訓練の実施もしている。 	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPを策定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年BCPを確実に見直し、職員間で共有していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・見学、契約時に確認をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・てんかん発作等の該当児がご利用になった時に対応できるよう、各職員が知識をつける必要がある。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	50%	50%	<ul style="list-style-type: none"> 食事提供は行っていないため、医師の指示書はいただいているが、アレルギーの把握は行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの該当児がご利用になった時に対応できるよう、各職員が知識をつける必要がある。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を作成し、研修を実施している。 	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に周知している。 	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書は回覧し、共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読むだけでなく、事故防止に活かしていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を実施している。 ・虐待の視点からも日々を振り返りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介入の仕方、声の掛け方など、一つ一つの支援を日々振り返りながら適切な関わりを行い、職員間での声の掛け合いを徹底していく。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項説明書を用いて、契約時に説明を行っている。また、児童発達支援計画にも記載し、保護者の同意を得た上でサインをいただいている。 		